

共和の郷・おだ

広報 第124号
平成26年3月1日発行

自治組織「共和の郷・おだ」、小田地域センター 739-2207 広島県東広島市河内町小田 2182

TEL : 082-438-0166 ホームページ <http://kyouwanosato-oda.com/admin>

E-mail oda-k@city.higashihirosima.hiroshima.jp

自治組織「共和の郷・おだ」役員改選(お知らせ)

1. 会長立候補の受付について

(自)「共和の郷・おだ」会長の任期が平成26年3月31日で任期満了となります。規約第11条の規定により、会長は立候補制となっています。

会長職に立候補される方は、事務局(小田地域センター、電話 438-0166 国原)へ申し出くださるようお願いいたします

【会長立候補受付 平成26年 3月24日(月)9:00 立候補締め切り 平成26年 3月31日(月)17:00】

※規約抜粋 (役員を選任)

第11条 会長は、立候補制とし、立候補なき場合は、役員会で推薦し総会において決定する。

2. 副会長、事務局長、会計は、会長が推薦し役員会において承認を得る。
3. 部長は、部員で選任する。ただし、女性部部長においては、全女性組委員で選任する。
4. 副部長は、部長が選任する。
5. 役員の任期は2年とし、補欠選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

2. 各組代表委員 組委員の選出について

「各組の代表委員1名、組委員4名(男性2名、女性2名)」合計5名を選出してください。

次の8部会のいずれかの部会に所属することになります。(8部会の活動について参考資料)

- ① 総務企画部(情報発信、共和の郷・おだ、たより、ホームページ、小田ビジョン、慰霊祭、新年の集い～)
- ② 農村振興部(農産物品評会、田植えまつりや収穫祭、寄りん菜屋に協力・協賛、～)
- ③ 文化教育部(講演会、地域文化活動推進、生涯学習発表会、史跡めぐりウオーキング協賛、青少年～)
- ④ 環境保全部(住みよい環境と暮らし良い福祉向上、こいのぼり、美化作業、イルミネーション防災、交通)
- ⑤ 福祉ふれあい部(安心して暮らせる福祉の向上、夏祭、金婚者表彰、長期入所者お見舞い、出産祝～)
- ⑥ 体育健康部(スポーツを通して交流を深め～、区民運動会、一周駅伝、区民パークゴルフ、わくわく～)
- ⑦ 女性部(地域のさらなる活性化～、敬老会、敬老プレゼント、手芸、食育講座(米粉、親子ふれあい、～))
- ⑧ 白竜部(健康、友愛、奉仕、パークゴルフ大会、健康づくり教室、親睦旅行、しめ縄づくり、サロン参加～)

所属する部の希望者の方は第1希望～第3希望をお書きください。別紙 記入用紙(組別代表委員、組委員記入用紙)をご利用ください。提出は3月31日(月)17:00まで事務局(小田地域センター、電話 438-0166 国原)をお願いいたします。

ありがとうございました。

ご寄付は(自)「共和の郷・おだ」の活動のため、有効に活用させていただきます。

香典返し 木村博明様

自治組織「共和の郷・おだ」会長 瀬川豊茂

福祉ふれあい部 部長 西川芳子

第14回生涯学習発表会 3月9日(ご案内)

見どころ

「小田昔なつかしお宝発見シリーズ」のお願い

ひと昔前(戦前、戦中頃からそれ以前の古い時代)の品物が家でほこりをかぶって眠っていませんか。みんなが興味関心の持てるおもしろい品で、小田文化の伝承として当時の暮らしを知り、懐かしみ、古い品物の中に良さを発見できる(温故知新)物を探しています。

小田史跡調査会では、このような品物を小田地域の皆様のご協力をいただいて集め、生涯学習発表会で展示したいと思います。本年度は、食器、大皿、重箱、漆器、弁当箱、おひつ等を中心に集めて展示したいと思います。このような品物がありましたら3月5日まで小田地域センターにお持ちいただくか、ご連絡ください。(氏名、物品名、用途等メモをつけてください。展示した後返却いたします。)

来年度は古い書籍、雑誌、漫画、教科書等を展示したいと思います。

小田史跡調査会会長 宮本 勝

聞きどころ

小田の民話を語ります

小学校の孫が「おばあちゃん、宇山や河戸には民話があつて学校で教えてもらえるけど、小田の民話はないだね」「そんなことないよ。小田にだって民話はたくさんあるんだよ」

さてさて、皆さんは小田の民話をいくつ覚えていらっしゃるでしょうか？ 民話は、実際に過去にあった出来事から語り継がれてきた、いわゆる、小田の歴史です。それが証拠に、その元になる史跡(茶飲み地蔵や浄楽寺など)が今も小田地域内に残っています。

民話を知ることは、小田の歴史を知ることかも……。はるか昔から、ここ小田地域で生きてこられた人々の感性や息吹に触れられることかもしれません。そんな思いで、小田女性会基金は、女性部の案をもとに小田の民話掘り起しと保存の為に、その一部を活用することとしました。

小田史跡調査会のご協力のもと、今回は、「千人塚」「浄楽寺の霊泉」「小田八幡神社の伝説」の3話を語ります。画家 南有田 秋徳氏(西条町)の絵と共に、小田民話に耳を傾けていただければ幸いです。そして、「まだ、こんな話もあるんだよ」とか「こんな風にしたらもっと面白いかも……」など、今後に向けた皆さんのご意見やご協力もお願いします。

子ども達に想像力と愛着を、大人たちに再発見と感動を！
それをするのは、「今」でしょう！！

(仮称) みんなみんゼミ

食べどころ

- うどんコーナー(11:00~13:30)の無料サービスがあります。
- べにほっぺ喫茶 コーナー(10:00~13:30)米粉で作ったレモンケーキと飲み物100円、先着100人までです。
- 寄りん菜屋から炊き込みご飯、バラ寿司、いなりなど販売されます。

第39回小田一周駅伝競走大会(報告)

小田一周駅伝競走大会が2月2日(日)、小田地区内を一周するアップ、ダウンとカーブの多い変化にとんだコースで実施されました。中学生は野球と陸上クラブ、小学生はバレーと野球のスポーツ少年団、小学生希望者のチーム、小学生低学年や保育園児の駅伝で走らなかった子はミニマラソンに出場しました。

開会式で「小田一周駅伝に参加した1年生から中学生のみなさん、駅伝大会ではタスキをリレーします。苦しくても寒くても前を走るランナーの姿が見えなくても責任を持って最後まで走らなければなりません。絶対にあきらめないで頑張りぬくのが駅伝です。この大会に参加して『頑張りぬく』ことの大切さを学ぶことができます。

駅伝大会をするには中継所係、タイムの記録、ゼッケンや名前の受付、参加賞、区間賞のお世話、小田地域の消防団のみなさんの交通整理、たくさんのうどん作りなど、多くの人の協力が必要です。こうした人たちから支えられている大会です。大会に参加して『感謝する心』を学んでください。」といった瀬川大会会長のあいさつがありました。

閉会式がすんだ後中学生の野球部、陸上部、バレー、野球のスポ少の各チームが本部の前に次々と整列して、大きな声で「ありがとうございました。」とあいさつしていました。見ていた周りの人たちから大きな拍手がわきました。

(自)共和の郷・おだ 体育健康部



瀬川大会委員長開会式あいさつ



皆でつないだたすき今ゴール



約200人の参加者で混雑しましたが、玄関の履物はきちんと揃えられていました。



優勝トロフィーと区間賞